

(政策)論文を書こう

別所俊一郎

一橋大学国際・公共政策大学院

一般的な原則(Thomson 2001)

- **簡潔さ, 明確さ, 統一性**
 - これらの原則は普遍的なもの
 - 実践するときにはいくつかの選択肢がありうる
 - どれを選ぶかは個人の好みによる
 - 判断・決断が必要
- **あなたの考えが興味深いものであるなら, 書き方によらず読んでもらえる, と考えてはいけない**
- **結果を書くことは, 結果を導くことの付随物ではない**
 - 考えてから書く, とともに, 書くことで考えることも.
 - Learn to write but also write to learn.

なぜ論文を書くのか？

- **メッセージを効率的に伝えるため**
 - あなたの/われわれの疑問に答えるため
 - 「疑問」が明確でない論文が多い！
- **「メッセージ」を伝えるために…**
 - 疑問点を明確にする
 - 論理を説明する
 - 結論や提言を述べる
- **独創性は高く評価される**
 - 質問, 論理, 概観...

読者は誰か, に注意しよう

- **ターゲットは誰か?**
 - **上司や同僚, 一般人, 海外の人々...**
- **ターゲットはなにを知っているのか?**
 - **もし, 想定される読者が問題の背景を知っているなら, その説明は省略したり短縮したりできる**
 - **もし, 想定される読者が問題についてほとんど何も知らないなら, 基本的な部分から説明する必要がある**

論文を書く手続き

- **時間や努力を3等分しよう**
 1. **問題点や疑問を明確にする**
 - 何が問題か, なぜその問題点は調査・研究する価値があるのか, を明確にする. 個人的な理由ではなく.
 2. **トピックや問題点を分析する**
 - 定性的, 定量的, 制度的, 歴史的, ...
 3. **文章を書く**
 - 書き直して, 書き直して, 書き直す.

問題点や疑問を明確にする

- **問題を明確にできれば、論文は半分完成したも同然**
 - 「なぜ？」と問い続けよう
- **あなたにとっての疑問とは何か？**
- **なぜその疑問は疑問なのか？**
 - **現実と理論のあいだのギャップを見つけよう**
 - **例：財政赤字は問題だ！**
 - **なぜ財政赤字は問題なのか？増税すればよいのでは？**
 - **なぜ増税しないのか？ できないのか？**
 - **政治的要因, 行政的要因, ...**
 - **その推測は正しいか？(定量的分析が必要かも)**

問題点や疑問を明確にする

- **もし、国際比較の論文を書こうとしているのなら...**
 - **なぜその国々を選んだのか？**
 - **どういう側面に着目するのか？**
- **もし、なんらかのパラメタの推定や、定量的な事実の発見を試みようとしているのなら...**
 - **なぜその「鍵になる」パラメタを選んだのか？**
 - **そのパラメタの意義は？**
 - **例：税率が上がった時にどれくらい税収が増えるか？**
 - **どの税率を上げるのか？**

問題点を分析する

- **もし、問題点・疑問点を明確に定義できていれば、関連する議論や理論(先行研究)を見つけられる**
 - **そのトピックについてどういう議論がなされてきたか？**
 - **他の国の状況はどうなっているのか？**
- **データを見つける**
 - **どのようなデータを用いることが適切か？**
 - **どのようなデータを用いることが可能か？**

文章を書く

- **自分がどのように結論に到達したのかという道筋を覚えておこう！**
 - **その過程をそのまま文章にするとは限らない**
- **文章を書く順序**
 1. **先行研究の外観**
 - **話の流れを作る。論文を並べるだけでは意味がない**
 2. **図表を用意する**
 3. **本文を書く**
 4. **結論を書く**
 5. **冒頭部分を書く**

図表の作り方：明確に，単純に。

- **図表はあまり複雑なものにしない**
 - **本文を読まなくても意味が分かるような図表がよい**
 - **ひとつの図表に多くの情報を詰め込み過ぎない。でも関連する情報はひとつの図表にまとめる**
 - **わかりやすい印・マークを使おう**
 - **長い表を作らず，適当に分割する**
- **図か表か？**
 - **表：正確な数値を報告したいとき**
 - **図：トレンドや傾向を示したいとき**

アウトライン: 本文を書く前に

- **本文を書く前に, 図表を含め論文のアウトラインを作る**
 - **どのような構成の論文にするか**
 - **どの段落になにを書くか**
- **典型的な構成**
 1. **イントロダクション**
 2. **先行研究の概観**
 3. **制度的背景**
 4. **理論的分析**
 5. **実証的分析**
 6. **結論**

アウトライン:例

- **インドネシアのVATの還付での汚職**
 1. **イントロダクション**
 2. **VAT還付プロセスの制度的説明**
 3. **アンケートによる実証結果**
 4. **税制の執行についての日本からの教訓**
 5. **結論:提言, 含意とその限界**

文章を書く

- **正確に，簡潔に。**
- **論文全体の構成に留意しよう**
 - **必要のない情報を書き込まない**
- **ひとつの段落にはひとつのメッセージを**
 - **ふたつ以上のメッセージを入れない**
 - **一文・一段落が長くなり過ぎないように**
- **最初の一文は重要だし，書くのは難しい**
 - **簡単なところから書き始め，最初の一文は後で書く**
- **自分が陥った誤りを忘れない**
 - **自分の誤りは，よりよい説明をするうえで役に立つかも**

結論を書く

- **得られた結果の簡潔なまとめ**
 - 論文で何を行ったか
- **分析から引き出される提言・含意**
 - 政策的含意
- **将来の調査研究の方向性についての議論**
 - 論文で用いた論理に決定的な前提とは
 - データの利用可能性の限界

導入部分を書く

- **最初の一文は、やっぱり重要だし、書くのは難しい**
- **「なにを」分析したか、「なぜ」分析したか、を明確に**
 - **「だれもこのトピックを研究しなかったから」は十分な理由ではない。「自分の担当だから」もよい理由ではない**
 - **調査研究されていない多くのトピックのうち、「その」トピックをなぜ選んだのか、ということをも明らかにする**
 - **「なにを」分析したかを示すのは簡単だが、「なぜ」分析したか、そのトピックがなぜ重要か、を示すのは簡単ではない**

導入部分の書き方, 順番

1. **観測される, あるいはよく言われる事実**
 - 例: 財政赤字が増えている
2. **その「事実」が問題である理由**
 - 経済成長や, 経済厚生 of 改善にとっての障害になっているから
 - 事実と理論のギャップ
 - 例: 財政赤字は将来世代に多大な負担を与える
3. **自分の観点**
 - 例: マクロ経済学的な視点
4. **行った分析**
 - 例: OLGモデルに基づいたシミュレーション分析

書き直す

- 論文を一度書き終えたら、しばらく忘れてみる
- しばらく経ってから原稿を読みなおせば、誤りや、誤植や、整合的でない、あるいは混乱させるような論理があることに気づくかもしれない
 - 初めて見る原稿だとおもって、自分の原稿を読む
 - 書き直すことに躊躇しない
 - 読み直す・書き直す、という作業は時間をとるかもしれないから、本文は早めに書き始める。でも焦りは禁物。
- 体裁を整える